

特集

奥尻島の観光

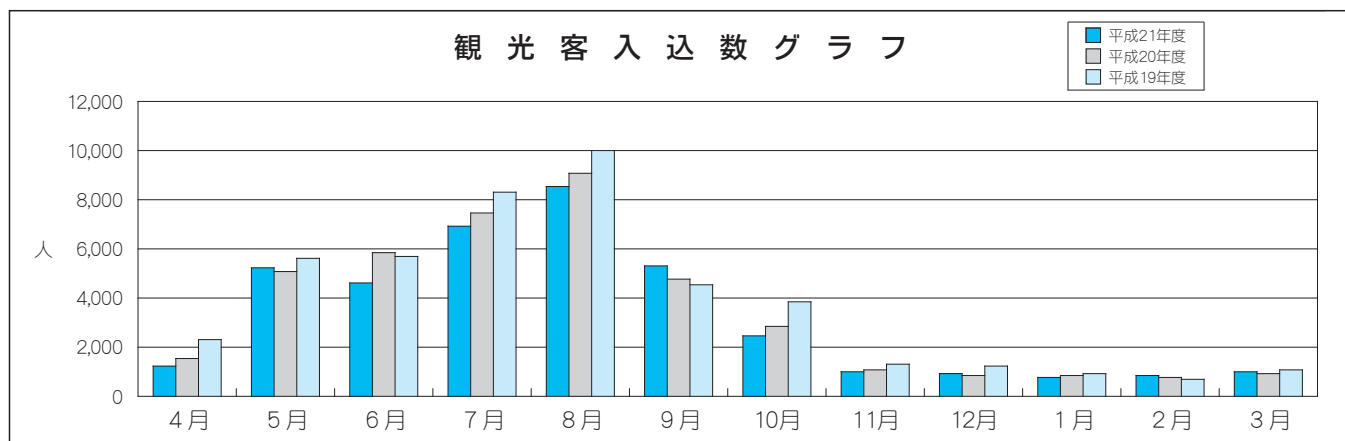
毎年6月には「奥尻島の観光」特集を組んでおります。

今回はH21年度の入りこみ数データ、奥尻島観光歓迎キャンペーン事業のデータをお知らせするとともに平成22年度に取り組む奥尻島観光の概要をお知らせ致します。

別表1 観 光 客 入 込 数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛行機	184	187	253	334	476	393	273	255	263	192	169	258	3,237
飛行機前年度	153	168	235	299	462	324	335	226	164	202	162	210	2,940
対前年度同月増減	31	19	18	35	14	69	-62	29	99	-10	7	48	297
フェリー	1,095	5,060	4,402	6,623	8,082	4,912	2,174	779	699	581	625	733	35,765
フェリー前年度	1,395	4,964	5,618	7,191	8,639	4,424	2,526	843	682	647	575	684	38,188
対前年度同月増減	-300	96	-1,216	-568	-557	488	-352	-64	17	-66	50	49	-2,423
平成21年度	1,279	5,247	4,655	6,957	8,558	5,305	2,447	1,034	962	773	794	991	39,002
平成20年度	1,548	5,132	5,853	7,490	9,101	4,748	2,861	1,069	846	849	737	894	41,128
平成19年度	2,298	5,654	5,731	8,317	9,971	4,529	3,891	1,312	1,211	915	724	1,070	45,623
対前年度同月増減	-269	115	-1,198	-533	-543	557	-414	-35	116	-76	57	97	-2,126
対前年度累計増減	-269	-154	-1,352	-1,885	-2,428	-1,871	-2,285	-2,320	-2,204	-2,280	-2,223	-2,126	-2,126
対前年同月比	82.6%	102.2%	79.5%	92.9%	94.0%	111.7%	85.5%	96.7%	113.7%	91.0%	107.7%	110.9%	94.8%

観 光 客 入 込 数 グ ラ フ



昨年の観光客入りこみ数（別表1）は39,002名、去年より2,126名減となり、最も観光客が多く訪れた平成15年度の57,654名から最も減少した残念な結果となりました。

また、奥尻島観光歓迎キャンペーン事業（別表2）においてもバス入込台数が減少しており、特にハイシーズン（6～8月）の入込数減少が著しいという結果となっております。

このようなことから個人客・団体ツアーに分けたより魅力ある集客対策が重要視されておりますが、日本国内の景気回復動向やH22年度からフェリー減船による運航ダイヤ変更が、島の観光動向にどのように影響するかを特に注目して施策展開していかねばなりません。

別表2 奥尻島歓迎キャンペーン事業団体バス年度別実績

単位：台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～3月	計
平成11年度	2	21	47	144	61	12	7	0	0	0	294
平成12年度	4	34	61	172	91	38	6	0	0	0	406
平成13年度	7	49	72	153	89	50	9	0	0	0	429
平成14年度	15	40	84	169	118	54	4	0	0	0	484
平成15年度	16	67	117	198	102	68	16	2	0	0	586
平成16年度	12	99	118	158	76	77	18	1	0	0	559
平成17年度	16	99	96	125	76	70	36	1	0	0	519
平成18年度	17	101	92	120	74	66	52	0	0	0	522
平成19年度	22	78	86	114	74	56	29	0	1	0	460
平成20年度	13	71	75	82	60	57	29	0	0	0	387
平成21年度	7	56	61	73	48	51	26	2	0	1	325



観 光 施 策 情 報

● 奥尻島観光協会運営事業

奥尻島観光協会（会長田中宏）では、昨年からの事務所設置（奥尻港内）及び専任スタッフを雇用して受入体制の充実を図っており、人気キャラクターうにまるくんの歓送迎、観光案内所サービス、フットパスガイド・鮑狩り体験の受け入れ等の観光振興プロジェクトの事業展開を積極的に推進していきます。ホームページでもブログ開設により、より身近な情報・話題が掲載されています。

◆ ホームページアドレス <http://www.unimaru.com/>

■ お問い合わせ先 奥尻島観光協会 ☎ 2-3456
観 光 案 内 所 ☎ 2-3096



● 奥尻島定期観光バス運行事業

島の観光地を地元ガイドによる定期観光バス
期間H22年7/1～8/31

バスセンター発 9:00コース（大人2700円・小人1500円）せたな便に接続です。
15:30コース（大人3000円・小人1700円）宿泊先まで送ります。

● 奥尻島歓迎キャンペーン事業

6m以上の観光宿泊目的のバスのフェリー片道（復路）航送料運賃を全額助成する制度を実施しております。

● 奥尻の島祭り

今年のお祭りの日程をご紹介します

- 5月1日(月) 今年の奥尻島びらきは約500人が参加して盛り上がりました。
- 6月22日(火)・23日(水) 賽の河原祭り 子供相撲大会・ソフトボール大会・灯籠流しなど
- 7月17日(土)・18日(日) 室津祭り 海の幸味三昧・活イカ釣堀りといった海の行事満載
- 8月28日(土) なべつる祭り 島屋台・奥尻しりふり音頭・綱引き大会・島ダーツなど

島の歴史・施設

○ 奥尻島津波館

北海道南西沖地震の教訓を後世に伝える同施設において青苗遺跡の墳墓から出土された勾玉（原寸は長さ5cm・幅2cm）が展示されています。

期間／4月中旬～11月：期間中無休 9:00～17:00 料金大人500円・小人170円

○ 稲穂ふれあい研修センター

奥尻島の遺跡から発掘された土器・石器や近現代の古民具などが展示されている同施設は週2回開館されており木村学芸員による詳しく・楽しく・分かりやすい解説が好評です。

期間／5月～10月の木・土曜日 9:30～16:30 無料

■ お問い合わせ 奥尻町教育委員会 ☎ 2-3890

島 あ そ び

○ 奥尻島フットパス

3コースがあり、自然・歴史・暮らし・震災など離島奥尻島ならではの魅力が点在しています。

フットパス地図は無料で観光案内所・宿泊施設・空港などに配置しております。

- A 空港・大寺屋敷コース 【6km／10260歩／3時間】
- B 青苗岬めぐりコース 【3.5km／5800歩／2時間】
- C 奥尻の森と町コース 【5km／8000歩／2時間30分】

○ 鮑狩り体験

島育ちの鮑のつかみどりが安全にできる体験。

体験費用は一人3000円で鮑2個まで、追加のお持ち帰りも可能です。（料金別途）

■ お問い合わせ・予約 奥尻島観光協会 ☎ 2-3456



【奥尻島観光客倍増プロジェクト ～人・自然・食がもてなす奥尻島観光～】

町ではH19年度からH21年度まで「奥尻島観光客倍増プロジェクト～人・自然・食がもてなす奥尻島観光～」として、入込数減少に歯止めをかけるべく島での滞在期間を1泊2日から2泊3日に延泊を目指した滞在型観光へのシフトを図っておりますが、その中でも奥尻島観光協会の人員体制強化による受入体制の充実、島歩き奥尻島フットパス・鮑狩り体験といったゆとり体験観光の推進、奥尻ブイヤベースなど食の魅力づくりによる旅行商品化などは一定の成果を得ることができました。

今年8月にはパークゴルフ場（名称 リトーレパークゴルフ場）が完成予定であり、地域交流ができる観光コンテンツがより充実することから、この厳しい状況を乗り越えるべくより奥尻島らしい「観光」を推進するとともに、今年5月に観光庁より認定された「はこだて観光圏」による広域観光連携をより強化した取り組みが特に重要視されます。



はこだて観光圏認定みなみ北海道観光連携

観光庁では、道南18市町村でつくる「はこだて観光圏」を平成22年度に新たに認定しました。

観光圏は隣接する観光地や自治体が連携し、2泊3日以上滞在観光型観光圏域を作る試みで、はこだて観光圏整備協議会（会長 函館市長 西尾正範）がまとめた観光整備計画に基づく計画事業に対して最大4割の補助金が交付されるとともに、この他にも国内外に国が観光圏の魅力PRをする等多様なメリットがあります。

函館観光圏は2007年から道南自治体・関係者が認定を目指して準備した結果、H22年度は釧路市と釧路管内弟子屈町でつくる観光圏の2地域が選ばれました。

◇ 計 画 の 概 要 ◇

「食は“函館・南北海道”にあり」～今だけ、ここだけの旅三昧・食三昧～

- ①道内屈指の「食の宝石箱」“函館・南北海道”の食観光のイメージ確立
- ②四季を通じた旬の「食」を現地で楽しむ、採れたて食三昧の周遊促進
- ③「また食べたい・また出会いたい」の、何度も訪れたい観光地づくり
- ④海産・農産・酪農・畜産、18市町村の「食」全てを満喫する滞在型観光の推進
- ⑤郷土の「食」文化と歴史・芸能・体験などが融合した「今だけ・ここだけ・あなただけ」観光の創出と情報発信力強化

観光圏実施計画の期間 平成22年4月1日から平成27年3月31日まで



このような取り組みから、奥尻町が目指す滞在型観光は同観光圏においても重要な役割を担っており、**宿泊受入体制及びおもてなしの充実や食ブランドとして郷土食のブランド化、圏域内の新グルメ開発連携**を軸に計画実施期間内に観光入込客数の増加、倍増に道南唯一の離島として取り組みを推進していきます。

5月

町・道民税 第1期

の納め時期

◎忘れずに納期（月末）までに納めましょう

◎納税には便利な口座振替のご利用を

29日	26日	21日	18日	17日	16日	14日	13日	10日	9日	定例課長会議
医師対策用務（滋賀県）	奥尻町漁港期成会陳情（江差町／函館市）	公立文教施設整備促進期成会・檜山総合開発期成会・国道27号（雲石道路）早期完成促進期成会総会・国道27号早期改良整備促進期成会総会（江差町）	定例課長会議	訪問（札幌市）	札幌奥尻会（札幌市） 株ハートランドフェリー本社	地域力想像施策説明会（札幌市）	医師対策用務（札幌市）	町内会緑化推進事業検討会議	奥尻町消防総合訓練大会	

5月の町長の動向